

平成 25 年度 上 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	黒野児童館	所管課	福祉部子ども家庭課
所在地	岐阜市古市場20番地1		
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団		
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日まで		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	15,212,000円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造2階建 ◇敷地面積:1,284.56㎡ ◇延床面積:599.78㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、図書室、勉強室、体育室、事務室 ※岐阜市立黒野保育所との合築		

●利用状況

		H25 上半期	H24 下半期	H24 上半期	H23 下半期	H23 上半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	14,956	12,009	14,530	11,703	15,960
	移動児童館利用者数	1,084	680	1,252	1,347	522
各室稼働 状況	移動児童館実施回数(単位:回)	22	16	14	19	12
	開館日数(単位:日)	156	151	157	152	157

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①、⑤計画どおり実施。 ②所長、正規職員1名、常勤パート2名(児童厚生員4名) ③中日ホームニュースに事業案内掲載、幼児用パンフレットの発行・配布、子育て支援カレンダーの作成・配布、ぶりネットに登録、児童館ホームページ、児童館だより「わんぱく」配布、幼児向けおたよりの発行・配布。 ④苦情・クレーム無し。利用者の要望を理解し運営。アンケート調査結果は館内に掲示(公開)。
自主事業・提案事業	—	—
施設管理	①施設設備の保守点検の実施(仕様書別記2参照) ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①適切に実施。保育所休日対応のため、マニュアルに基づき警報機、警備保障器具の確認を実施。 ②就労促進事業施設清掃班による屋内外清掃を実施。 ③使用していない部屋の消灯、冷暖房節約、節水に努めた。母親クラブ等に協力を仰ぎ、リサイクル使用できるようなものを意識して使用。地域の方の協力を受け、集まった牛乳パックなどを行事材料として利用。 ④「おもちゃ病院岐阜」さんに児童館遊具の点検・修繕をお願いし、使用期間を延長した。遊具安全点検を業者にて1回、職員にてつき1回行った。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	②大規模な修繕については指定管理者並びに岐阜市に要望を提出。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①、②、③マニュアル等に沿って適切に実施 ②子どもからの不審者情報は保護者・その他来館者から確認を取り、来館児童と学校へ注意喚起した。消防警報機誤報に対するマニュアルに基づき、警報機、警備保障器具の対応を確認した。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	平成25年7月子育て支援事業(幼児クラブ)に参加の保護者にアンケート(無記名)を実施。 回答者数50人(回収率100%)
利用者アンケートの実施結果	○今までに参加したクラブ名 たんぽぽひろば(1歳以上親子ひろば)25人、ぴよぴよくらぶ(1歳半以上親子くらぶ)22人、リトミックくらぶ(1歳半以上の親子リトミックくらぶ)17人、スマイルひろば(0歳親子ひろば)11人 (複数回答可) ○クラブを知ったきっかけ 館内の貼紙16人、ホームページ14人、友人9人、子育てカレンダー6人、幼児版たより5人、保健師2人、その他3人 ○幼児クラブについて 満足39人、ほぼ満足11人、やや不満0人、不満0人 ○幼児クラブに参加した際のお子さんの様子 友達ができて楽しそう、歌に合わせて踊ったり単純にお絵かきがすき、活発に動くようになった等 ○幼児クラブでお子さんが好きな活動について おえかき、アンパンマンごっこ、なつまつりごっこ、体操、楽器遊び、ゆうぐあそび、電車ごっこ等 ○職員の対応について 満足46人、ほぼ満足4人、やや不満0人、不満0人
利用者からの要望・苦情と対処・改善	・要望 ⇒ 回答 季節のイベント 手作りおもちゃづくり 親子で楽しめる活動 体を使う活動等 ⇒ 幼児クラブのプログラムに取り入れる 幼児室にあるとよい遊具、絵本等のリクエスト ⇒ 購入にむけ準備中。 ジャングルジム等の大型遊具。⇒幼児室にスペースがない。 駐車場が多いといい、スペースが狭い等 門扉の工夫 ⇒ 駐車場についてはご協力をお願いし、門扉は岐阜市に修繕を依頼

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表(館内掲示など) ・広範で適切な広報活動の実施(ホームページなど)	A	S	S
		区分評価			S	
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	A	S	S
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	・利用者アンケートの実施 ・苦情・クレームへの着実な対応	A	A	A
		利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施(仕様書別記3参照) ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	A	A	A
		利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	A	A	A
		サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど	・事務分掌等に基づく事務分担の実施	A	A	A
		施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		区分評価			A	
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	指定管理経費の妥当性(収支計画の妥当性など)	・収支計画に沿った運営(予算書に沿った執行)	A	A	A
		管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	A	A	A
		区分評価			A	
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・事務分掌等に基づく管理・監督体制並びに事務分担の実施	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	A	A	A
		リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価			A	

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他の団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	A	A	A
		地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	S	S	S
		区分評価			S	

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組みに対する評価	<ul style="list-style-type: none"> □ホームページや館内掲示などで0歳児対象「スマイルひろば」の参加者が増加した。 □今期、はじめて講師による「読み聞かせ教室」を開催したところ、大変好評であった。ぜひまたやって欲しいという意見も多く聞かえたので、下半期にも企画する方向で日程を調整している。(黒野保育所とも連携) □日頃のコミュニケーションの中で利用者ニーズをつかみ、小学生対象の行事に活かしたり、おもちゃやぬりえを増やして好評を得た。
前回までの意見を踏まえた取組み状況	<ul style="list-style-type: none"> □岐阜市社会福祉事業団主催の管理者研修会にて災害時事業継続訓練研修を行った。 □岐阜市社会福祉事業団内の会議、研修で、ノウハウ、情報の共有化や意思統一などを行った。 □ぶりあねっとや子育て支援カレンダーを広報に活用した。 □黒野児童館が毎月発行しているおたよりなどを、新しくなった岐阜市社会福祉事業団のホームページでリンクしてもらい広報に努めた。 □黒野西郷ネットワーク会議の事務局として子育て支援カレンダーを毎月作成し、地域の子育て支援情報を発信した。 □利用者アンケートに寄せられた意見を取り入れ、ニーズにあったメニューを活動に盛り込んだ。また、他のメニューも常に改善し参加者に喜ばれた。 □児童館での子どもの様子について、保健センターや小学校との連携を密にし、情報を共有して見守り、関係諸団体と連携を継続した。
今後の取組み	<ul style="list-style-type: none"> □臨床心理士さんによる、どなたでも気軽に相談できる機会として、「育児なんでも相談」を継続し、育児不安の解消や虐待防止につなげたい。 □親子ふれあい教室や子育てサークルなどの機会を利用した広報を継続したい。 □1人で育児に悩まず、黒野児童館で気軽に話せる機会や場所があるということを多くの子育て家庭に知っていただけるよう広報に務めたい。

●所管課の意見

<p>広報活動に関しては前期に引き続きホームページの運営、中日ホームニュースでの事業案内掲載、児童館だより「わんぱく」の担当する6校区の全児童配布や乳幼児向けおたよりやパンフレットの作成・配布などを広範囲に実施している。新規事業としては「読み聞かせ教室」の開催、「ベビーヨガセラピー」の定期的な開催などを実施しており、好評で継続していく予定である。利用者のニーズを把握し、業務を改善したり、考えるなどして利用者増につながったと思われる。また問題行動を繰り返したり支援を必要とする児童について常に学校や保健センターと連携を取り見守り、指導した。子育て支援として行っている臨床心理士による「育児なんでも相談」は続けていきたい。</p> <p>事業計画に基づく事業は計画どおり実施した。職員体制や経営状況については、問題なく運営が行われた。地元の社会活動にも積極的で地域の団体とも協力・連携関係にあり、黒野青少年育成市民会議主催の親子ふれあい教室のあそび支援などを実施した。</p>
--

●指定管理者評価委員会の意見

<p>事業運営は活性化されており、施設間での競争意識も働いて良い結果が出ている。今後も他施設との情報の共有・交換を積極的に行っていただきたい。</p> <p>子育て支援に対する社会の要望をきちんと把握し、うまく活動に取り入れている。ブログ等のインターネットを利用した広報は大変効果があり、引き続き活用していくと良い。適正に管理運営されており、良好と認められる。</p>
--